

扱い	テレビ・ラジオ・新聞 制限無し
解禁	無し

記者発表資料

平成23年 2月28日

『雲仙岳砂防指定地利活用懇談会』を開催します

雲仙・普賢岳は平成2年に198年ぶりに火山活動を再開し、地域生活や経済活動に長期にわたって甚大な被害を与えました。火山活動終息後、雲仙復興事務所では平成9年5月に「雲仙普賢岳砂防指定地利活用構想」を策定し、砂防指定地内の利活用に関する施設整備等を地元住民や関係機関と協議しながら進めてまいりました。

平成9年の構想策定から10年以上が経過し、平成21年8月の島原半島の世界ジオパーク登録や、水無川下流、中尾川、湯江川における砂防工事の概成など、砂防指定地を取り巻く状況も変化してきました。この新たな状況を踏まえ、時代の変化に見合った利活用を推進し、安全で水とみどり豊かな地域の復興を図っていく必要があります。

当事務所では、平成21年度に「雲仙岳砂防指定地利活用懇談会」を開催し、今後の利活用に必要なハードやソフトの整備について提案させていただきました。

平成22年度の懇談会は、地域の代表者、行政関係者など、それぞれの立場から利活用についてのご意見、ご提案をいただき、その推進方法や役割などについて検討を行い、適切な砂防指定地の管理、利活用に資することを目的とするものです。

- | | |
|---------|--|
| 1 日時 | 平成23年3月2日（水） 13時00分～15時00分 |
| 2 場所 | 雲仙復興事務所 3階会議室 |
| 3 参加団体 | 15団体 |
| 4 懇談会内容 | 事前に各団体にアンケート調査を行っており、抽出された意見・提案を水無川及び中尾川上流、下流などの流域ごとに区分けし、それぞれについて意見交換を行います。 |

発表記者クラブ
・島原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
 (0957) 64-4171 (代表)
 調査課長 前田 昭浩 (内351)
 ホームページアドレス:<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

平成 22 年度 雲仙砂防指定地利活用懇談会

議 事 次 第

平成23年3月2日(月)13:00～15:00
於 国土交通省雲仙復興事務所 3F 会議室

1. 開 会
2. あいさつ
3. 出席者紹介
4. 議事（司会・進行：雲仙復興事務所）
議題：砂防指定地内の利活用の要望と推進方策について
5. その他
6. 閉会

【配布資料】

- ・「平成 22 年度 雲仙砂防指定地利活用懇談会」資料

平成 22 年度 雲仙砂防指定地利活用懇談会

参 加 団 体

- 安中地区まちづくり推進協議会
- NPO法人島原普賢会
- 中尾川利活用推進委員会
- 大野木場団地自治会
- 雲仙百年の森づくりの会
- NPO法人島原ボランティア協議会
- 北上木場災害遺構保存会
- 第5回ジオパーク国際ユネスコ会議
- 島原半島ジオパーク推進連絡協議会
- 雲仙岳災害記念館
- 九州大学地震火山観測研究センター
- 島原温泉観光協会
- 島原温泉旅館組合
- (株) ケーブルテレビジョン島原
- 長崎県立島原農業高校